

## 《事故情報》

### バルブ交換作業中、作業員6人が呼吸困難・病院搬送

(一社)大阪府高圧ガス安全協会  
事務局

令和8年3月10日午前9時55分頃、岐阜県可児市土田の製紙工場から「2人の作業員が作業中に何らかのガスを吸い、呼吸困難で意識朦朧になった」と119番通報がありました。

20～60代の男性作業員6人が救急搬送され、うち60代の男性1人が意識不明の状態という事です。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

#### 1. 事故概要

- (1) 発生日時：令和8年3月10日（火） 午前9時頃
- (2) 発生場所：岐阜県可児市土田の製紙工場内
- (3) 作業状況：一酸化炭素を送る配管のバルブ交換中の事故。  
作業中の2人が倒れ、現場近くにいた4人が駆け付けたが2次被害にあった模様。
- (4) 物的被害：物損は不明
- (5) 人的被害：6人が救急搬送され、1人が意識不明状態。
- (6) 推定事故原因：一酸化炭素ガスの漏洩・吸引が原因と考えられます。

一酸化炭素は無色無臭で、可燃性・毒性ガスであり、一酸化炭素が通る配管を取扱う場合、一酸化炭素ガスを漏洩させない処置（不活性ガスとの置換処置含む）や作業手順の徹底（漏洩時の処置含む）を行ったうえで作業を行う必要があります。

非定常作業において作業現場の危険性を洗い出し、その対応策を現場作業員に周知し、必要に応じて法定責任者の選任、確実に監督させることが必要になります。

#### 2. 報道記事（添付します：出典：岐阜新聞デジタル、読売新聞（オンライン））

- (1) インターネット情報  
「製紙工場 ガス吸引事故」で検索すると出てきます。

以上

## 【速報】 可児市の大王製紙工場、男性6人救急搬送 作業中にガス吸引か

2026年3月10日 12:25



ギャラリーを見る

作業事故があった大王製紙可児工場 = 10日午後、可児市土田

10日午前9時55分ごろ、可児市土田の大王製紙可児工場で、「2人の男性作業員が作業中に何らかのガスを吸い、呼吸苦で意識もうろうになった」と同工場から119番があった。可児署によると、20～60代の男性作業員6人が救急搬送され、うち60代の男性1人が意識不明の状態という。

署によると、一酸化炭素ガスを送る管のバルブ交換中に、同じ建物にいた6人が巻き込まれた。搬送された6人のうち、50代の男性は一時意識を失い、意識が戻ったという。20代の男性2人、40代の男性2人はいずれも体調不良を訴えている。署は当時の状況を調べている。

YOL 読賣新聞 オンライン

### 「作業員2人がガスを吸い呼吸困難」と119番、60代の男性が意識不明...岐阜の大王製紙可児工場

10日午前9時45分頃、岐阜県可児市土田の大王製紙可児工場から「2人の作業員が何らかのガスを吸い、呼吸困難になった」と119番があった工場で作業をしていた20～60歳代の男性6人が病院に搬送され、うち60歳代の男性1人が意識不明の重症という。



【地図】 岐阜県可児市

岐阜県警可児署の発表によると、工場では一酸化炭素を供給する部品の交換作業が行われていた。同署が原因を調べている。